



ひだまり

さくら千手園 佐倉市青菅1019 043-462-2008 木の宮学園 佐倉市青菅1051 043-463-1008

目次

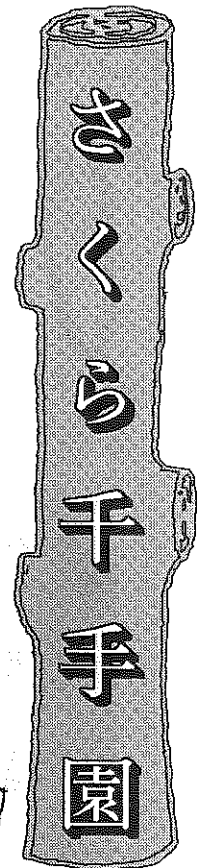
散歩道	1
さくら千手園	2
シルバーサービス	2
夏まつり	2
千手園日記	3
木の宮学園	4
フリータイム	4
夏期一泊旅行	4
木の宮日記	5
サポート	
ボランティア紹介	
夏まつり特集	6
アプローチ	
施設オンブズマン制度その二	7
情報フラッシュ	8



親子宿泊旅行 江戸ワープステーションにて

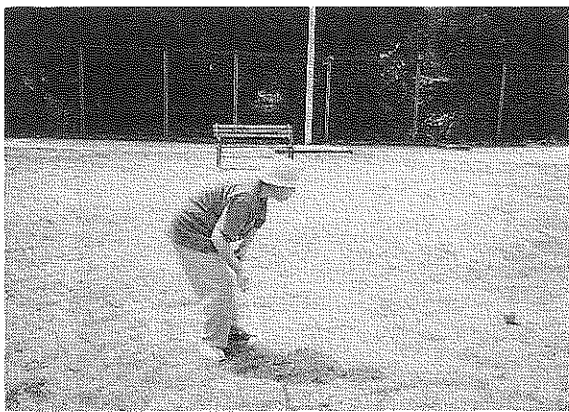
散歩道

本園の旅行には、全員で行く親子宿泊旅行と少人数の希望で行く3泊4日位のニード別旅行がある。今年の親子旅行は9月7、8日に茨城大洗海岸へ。ひと月前から「今年はどこへ行くの」「ドライブインで天プラそば食べようネ」「コココーラおごってあげるネ」と待ちどおしい。当日は朝早くからそわそわ、バスに乗り込みいざ出発。ワープステーション江戸等で楽しみホテルへ。ゆっくり展望風呂に入浴、海はいいなと思いつつ宴会場へ。ごちそうを平らげ、お待ちかねのカラオケ&ディスコタイム。思い出の歌や新曲、それに合わせて踊る人、大幅延長で大満足。2日目は那珂湊魚市場で新鮮な魚貝類に目を白黒、あまりの安さにバス一杯の買い物。昼食は秋の味覚を求めバーベキューと梨狩り。何が一番楽しかったと聞くと「カラオケと梨狩り」との答え。何もこんなに遠くまで出かけることもないかと思っていると「旅行大好き、また行こうネ」と。今年も思い出のページができた喜びを胸一杯に共感した。



当園の利用者の中には、高齢化が進み平成5年頃より高齢者特有の症状が見られ始めました。そのため、高齢者に対する対応について検討する必要性があるため、医療・栄養・援助の3本柱で対策をとってきました。医療面では、医者に相談し年2回骨密度を計り薬を処方してもらっています。栄養面については、運動量とカロリー摂取量を細かく計算しカルシウムを多く含む牛乳を出すなどしています。援助については、日常的なケアをしていこうとシルバーサービスのプログラムを平成8年度より実施しました。これは、生活の全体的なゆとりを主眼として独自の時間を設定し、健康面を重視しながら興味を示すことや趣味等を取り入れ、高齢者に対するQOLを模索していくことを目的としています。プログラムについては、

運動を中心としたものでゲートボール・散歩・買い物等行っており、職員とのコミュニケーションの場ともなっています。今後は、社会参加も考え地域の催し等にも積極的に参加し、地域交流を深めていく様な活動を取り入れていきたいと思えます。
(望月)



第13回 夏まつり

今年もやってまいりました恒例の「夏まつり」。地域の皆さんと親睦を深めたいと思いついた行事も今年で13回目を迎え、利用者・職員共々皆さんに会える事を楽しみに準備をしてきました。始めの話し合いは「ゴールデンウィークが明けてすぐの事、皆から「もうそんな時期か、早いね。」と聞こえる中、さくら千手園・木の宮学園の自治会にアンケートを依頼し時間や内容の調査をしました。模擬店の種類には特にシビアで、個人的に「やっつてよ」と言いにくる人も出る程。アンケートを集計し、上位



2店の模擬店を行う事となりました。計画ができると皆の気分は一気に夏まつりモードで、木の宮学園ではチケット作りを開始。皆慣れた手つきでどんどんチケットが出来上がっていきました。両自治会も模擬店を行う人や開会宣言の人選など、慌ただしく時が過ぎていき、千手園でも毎年来てくれているボランティアの方々や盆踊りの練習や花紙作りを行い、あつという間に当日になりました。午前中には、成田で雷雨との情報がありました。天に祈る気持ちでしたが、皆の熱意が勝ったのか無事に開催できました。模擬店を行っている利用者も額に汗し、大きな声を出してまつりを盛り上げていました。また模擬店アンケートで上位だったお好み焼きは焼き上がり追いつかない程好評でした。勇翔太鼓の演奏にはあまりの迫力に目を丸くする人も見られ、最後ののど自慢では大勢の観客を前に満足そうに歌っていました。最後になりましたが、関係各位に厚く御礼申し上げます。
(蜂谷)

絶景ノアルペンルートの雪景色

良く晴れた日の早朝、15名のミニ団体は騒々しくアルペンルート目指して出発しました。アルペンルートの始まりである黒部は寒く皆長袖を着ていました。トローリーバスやケーブルカーに乗り、標高1448mの黒部ダムまで行くとさすがに雪が残っており、ジャンパーまで着込みダムを見学。展望台からダムを見降ろすと、寒いどころではなく「恐いね。落ちたら死んじゃうよ。」とK・Kさん。かと思えば美しい雪景色を見つめるT・Iさん等楽しみ方は様々でした。その後、またロープウェイやバスを乗り継ぎ立山まで一気に横断しました。途中、「ロープウェイは宙に浮くから恐いよ。」と言って、なかなか乗りましたがらない方もいました。普通乗れない乗り物を堪能することができ、乗り物好きにはたまらない旅でした。

(相澤)



黒部ダムにて

千手園日記

いつもより少しだけ太陽が大きく感じる。そうです、私達は沖繩にやって来たのです。沖縄の海が青い瞳をキラキラと輝かせ私達を出迎えてくれました。Sさんは背中を真赤にさせて砂の城を作っています。Fさんは浮き輪につかまりワカメのように漂っています。しょっぱいものに目のないNさんは海水を指に浸し口へ運び味の品定め。Mさんはマリ

「何か美味しいものあるの?」「辛いものが多いと思うよ。」「じゃ他に何かあるの?」「さあ判んないね。」隣りなのに殆ど何も知らない韓国という国に行くんだなと思いが話していました。飛行機でウトウトとしている間に、そのとなりに着いていました。歩いている人も周りの建物も日本と変わった所がなく、別の意味で「ここは何

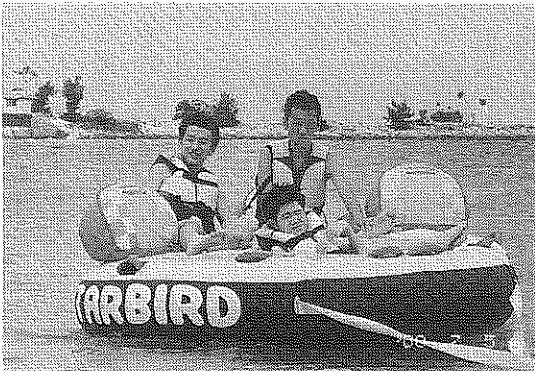
異国の地からアニョハセヨ

処」という感じがしました。しかし、歩くスピードや車の走り方は、早い者勝ちと思う程で少し怖かった……。食事の度に出てくるキムチに「辛い辛い」と言っていた利用者も一日過ぎると「美味しい美味しいお替わり」と言う様になり、皆韓国料理にほれほれしていました。「あ、もっとビビンバ食べよ。」「又今度来ればいいよ。」(仲田)

サミットで現地人

ンスポーツ、ゴムボートに乗り固まってしまうました。さて、楽しく遊んだ後は何ととっても沖縄料理。アレツ、様子が変だぞ。渋い顔に変えさせた犯人はゴーヤチャップル。気を取り直してソーキそば、今度はみんなに笑顔が戻りました。三泊四日の楽しい思い出。日焼けで皮ボロボロのお土産付きでした。

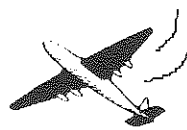
(大内)



谷茶ベイにて

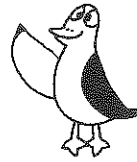


景福宮にて



木の宮学園

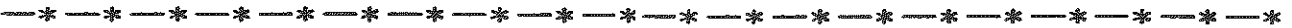
フリータイム



毎週水曜日の午後を実施しているフリータイムについては、第6号において掲載いたしました。活動の充実をはかるために今年度より変更となった点を中心に紹介します。まず選択期間が年間を通しての選択から、毎月第1水曜日に好きな活動を選べるようになりました。また、活動内容についても従来のカラオケ・ドライブ・プール・散歩の4種類から、毎月異なるオプション活動を2つ用意し、選択の幅を広げました。オプション活動は、季節的な事柄や利用者の趣向、職員の趣味などを採り入れています。現在までに実施した活動は、和陶芸・ポウリング・創作（フラワーアレンジメント、ろうそくづくり等）・TVゲーム（PS2、ドリームキャスト）etc.。どの活動も今までのものとは異なり、新鮮な気持ちで活動で



きたようでした。今後も様々な企画を行いたいと思っておりますが、現在のスタッフ数ではどうしても企画の幅が狭まっております。そこで！皆さんにお願いがあります。す！！何か特技を持っていらっしゃる方、特技はないけれど時間はあるという方、どのような形でも結構です。一緒にこのフリータイムを過ごしてみませんか？（山崎）



今年の夏期一泊旅行は、海に行くか山に行くか、好きなプランを選べるぞ、その言葉に皆の目が輝き出す。「僕は泳ぐ。」「バーベキュー、バーベキュー。」
「浮き輪持ってくるね。」「露天風呂に入りたくない。」両方のプランを見比べながらそれぞれの思いを口にして、その日を今か今かと待ち望みます。
そして旅行当日。山グループは一路ロマンの森共和国へ。楽しみは夕食のバーベキュー。満天の星空の下でジュージューとお肉や野菜を焼いて食べるのは格別です。あつという間に大盛りの食材が皆のお腹の中に消えていきます。大満足の笑顔でご馳走様の後は露天風呂の時間で

海それぞれの夏へ

す。大きなお風呂に入りながらきれいにライトアップされた山の壁面を見上げて、皆大歓声をあげていました。

一方海グループでは、安房もとな荘へと向かいます。ワゴン車の窓から海が見え始めると、全員の目は遠くに見える水平線にくぎづけになります。昼食を食べるのももどかしく、水着に大急ぎで着替えると、一直線に浜辺へ。砂遊びをする人、波を眺める人、水をかけ合う人、皆大はしゃぎ。時の経つのも忘れて、海と戯れていました。

そして二日目。それぞれに沢山のお土産と、大きな思い出の詰まったリュックを背負って学園まで戻ってきたのです。

やまをたのし
— かったよ (M・T)
フみいきま
した (F・T) (小石)

木の宮日記

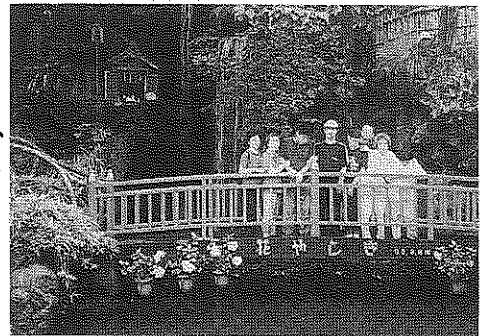


龍虎合戦

キラキラとした太陽が照りつける7月。街は夏真っ盛りです。そんな中我々名古屋ドーム観戦ツアー隊は堂々、名古屋入りをしたのでした。到着するとまず冒険。ホテルのおおよその位置と方向を教えメンバーの皆に探してもらいました。「どこだよー」「あれは?」「違ふよ。」と目を皿の様に探す若手メンバーと「ちゃんと連れて行ってね。」と後から見守りつつも時折助言をする年配のメンバー。一時の冒険を楽しんだ後、ちゃんとホテルへと案内してくれました。そして、いよいよメインイベント。今宵のカードは中日対

阪神です。メンバーの中に熱烈的なファンがいたので阪神側のスタンドで観戦し始めた我々でしたが、思わぬ伏兵が潜んでいました。熱烈的な中日ファンもいたのです。たちまち激しい応援合戦です。かくして「打てー!」「なにやってるんだよー」という激しい叫び声は、名古屋の夜遅くまで響いたのでした。(高橋)

浅草の遊園地



台風と秋雨前線の影響で不安定な天候の中、花やしき遊園地に行ってきました。浅草寺の仲店通りで帰りにお土産をかうの楽しみにした

ハラハラ♥ドキドキ

「絶叫マシーンに乗ろうね。」と楽しみにしていた後楽園遊園地に9月8日総勢9名で行ってきました。そこはエキサイティングなアドベンチャー空間です。ドキドキしながらタワーハッカーに乗り、眼下にだんだんと小さくなっていく景色に「すごい!東京ドームが小さく見える。」と満面の笑顔。ところがいざ垂直落下になると、あまりの迫力に職員の腕にすがりついたり驚きの歓声を上げたり涙を浮かべるひとまぐももあり、様々な表情でした。まさに「行きはよいよい帰りは怖い。」という感じですが、でもひと息つくと、うれしそうにスピニング



コースター舞姫やツイーンハケン...と次々絶叫マシーンにチャレンジ。皆、乗り物やアトラクションに心ゆくまで遊園地を満喫した1日でした。「また行こうね。」の声も

から花やしきに着き、早速乗り物に直行。海賊船で周りの景色を眺めたり、自分の足でペダルをこいでレールの上を走ったり、(力を入れ過ぎるとスピードが出て前の車に追突してしまうので、どきどきしてしまいます。)メリーゴーランドで外の人に手を振って、みんなにここ。池では白鳥の船に乗り、船のまわりにはかわいいおもちゃのアヒルがいっぱい。おばけ屋敷にも入りました。「こわいよー。」「いや大丈夫、大丈夫。」と言いながらも力が入り、出口に来てホッと一息。昼食は遊園地の中の食堂で、それぞれ好きな物を食べ、ジュースも飲んで満足。午後はジェットコースターに乗ったり、ゲームをしたり、とても楽しい1日を過ごしました。帰りにお土産を買い、皆さん大事に持って帰りました。(田中)

(保谷)

ボランティア紹介

夏まつり特集

我が千手会で一番多くのボランティアが集まる日、夏まつりが今年も盛大に開催されました。200名近いお手伝いをいただいた中から、6名の学生さんに声を聞くことが出来ました。暑い中、会場準備から駐車場、バザー、屋台、ゲーム、後片付けまでと、各部署それぞれに大変さがあったかと思えます。御協力ありがとうございました。今後とも様々な場面でボランティアを募集していきます。何かしてみたいと感じた時、気軽に御連絡下さい。お待ちしております。

東京成徳大学 四年

荒木 和歌子

良い天気恵まれ、千手会夏祭りが行われました。

私はヨーヨーゲームのお店でボランティアをさせていただきました。夏祭りということもあり、利用者の方々はとても楽しそうにゲームをしたり、食べたりして、私自身も楽しく参加させていただきました。最後に今回のような機会をいただきまして、皆様にとを皆様に感謝いたします。

利用者とどのように接したら良いのかという不安もありましたが、当日担当の焼きそばの屋台に入ると、その思いはすぐになくなりました。声をかけながら一緒にパックに入れ、大声で客寄せをし、販売をしているうちに休憩を取るのも忘れて、あっという間に終了時間になってしまいました。私自身が、誰よりも楽しんだ一日でした。



松山福祉専門学校 一年

牧野 頼彦

私にとってボランティア（夏祭り）は初めての経験でした。

利用者とどのように接したら良いのかという不安もありましたが、当日担当の焼きそばの屋台に入ると、その思いはすぐになくなりました。声をかけながら一緒にパックに入れ、大声で客寄せをし、販売をしているうちに休憩を取るのも忘れて、あっという間に終了時間になってしまいました。私自身が、誰よりも楽しんだ一日でした。

利用者とどのように接したら良いのかという不安もありましたが、当日担当の焼きそばの屋台に入ると、その思いはすぐになくなりました。声をかけながら一緒にパックに入れ、大声で客寄せをし、販売をしているうちに休憩を取るのも忘れて、あっという間に終了時間になってしまいました。私自身が、誰よりも楽しんだ一日でした。

佐倉西高校 三年

程塚 夏美

千手会夏のイベントの一つ「夏祭り」は私が一番楽しみにしている行事です。今年は、飲みものをお手伝いさせて頂きましたが、去年以上に今年は盛り上がりつつあると思います。かき氷やお好み焼をおいしそうに食べている利用者の方々の笑顔を見て、私はぜひ来年も参加させて頂きたいと思えました。二〇〇〇年夏の出がまた一つ増えました。

桜美林大学 二年

倉波 典子

残暑厳しい中、千手会夏祭りの駐車場係を去年に引き続き手伝えました。あまりの暑さに、去年で懲りたはずなのに何で今年も自分から立候補したんだろうと後悔しました。でも、夏祭りに遊びに来た方々に笑顔で声をかけてもらった時は、苦勞が報われた気がしました。また職員の方々も気を遣って下さったので気持ちよくお手伝いできました。来年は他の係も手伝いたいです。

千手園での現場実習を2週間後に控え、施設の雰囲気慣れ利用者・職員の方々と親しむことを目的として私はこの夏祭りに参加しました。駐車場を担当したため利用者の方々と触れ合う機会は少なかつたのですが、午前中の準備の際、水風船を作りながら利用者の方と遊んだのは楽しい思い出です。実習中も楽しい思い出を作りたいと思います。

東京成徳大学 四年

阿保 雄史

千手園での現場実習を2週間後に控え、施設の雰囲気慣れ利用者・職員の方々と親しむことを目的として私はこの夏祭りに参加しました。駐車場を担当したため利用者の方々と触れ合う機会は少なかつたのですが、午前中の準備の際、水風船を作りながら利用者の方と遊んだのは楽しい思い出です。実習中も楽しい思い出を作りたいと思います。

順天堂大学 三年

細谷 智美

私は千手会主催の夏まつりに初めてボランティアという形で参加させて頂きました。夏まつりと言うだけあり、朝から厳しい日差しが照りつけていましたが大勢の人で盛り上がり大成功だったと思います。その雰囲気はとてもよく、利用者・保護者・職員すべての人が一体となり、ボランティアの私たちが楽しくなりました。また機会があればお手伝いさせていただきます。

千手園での現場実習を2週間後に控え、施設の雰囲気慣れ利用者・職員の方々と親しむことを目的として私はこの夏祭りに参加しました。駐車場を担当したため利用者の方々と触れ合う機会は少なかつたのですが、午前中の準備の際、水風船を作りながら利用者の方と遊んだのは楽しい思い出です。実習中も楽しい思い出を作りたいと思います。

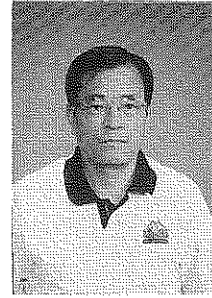


Approach

アプローチ=接近する・研究方法

施設オンブズマン制度(その二)

—よりよい施設サービスをめざして—



千葉県袖ヶ浦福祉センター
更生園園長 請井征力

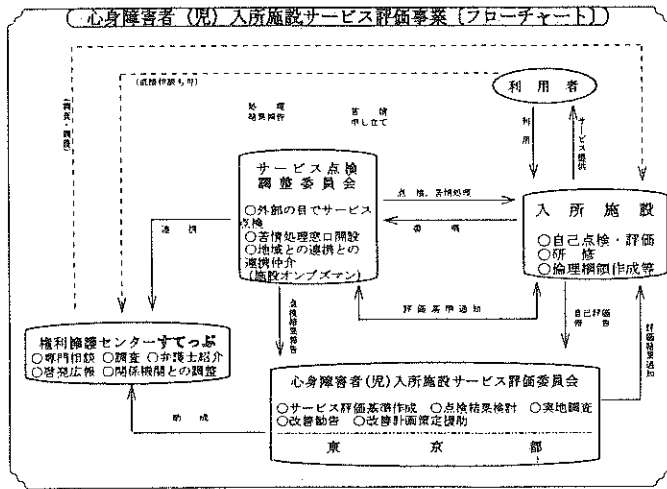
はじめまして、渡辺先生と同じく千葉福祉園にて、施設オンブズマンを委嘱されているものです。

なぜ、今、施設オンブズマンなのでしょう？新聞報道で見られるように施設等での知的障害者に対する人権侵害事件が全国各地で多発しています。特に近年になって基本的な人権や権利擁護の拡大と共に、人権意識が高まったこともあって、これまで社会的に表面化しなかった利用者の権利侵害が、一挙にここにきて問題化したともいえるのではないのでしょうか。こうした人権侵害に対して、利用者の「自己決定」を無視したサービスプログラムがあげられます。さらにその背後には

施設最低基準などのサービス基準設定の問題、施設経営者の資格・資質の問題及び職員の教育・研修体制の問題・経営の密室化等の問題が存在しているといえます。今後、新しいサービス制度の移行に伴って、当たり前のことではありますが、「利用者の選択」「直接で対等な関係の確立」となった場合、施設オンブズマンの機能とその役割は重要な位置を示すこととなります。しかし、あくまでも施設オンブズマンは、単なる苦情処理や監視役に終止するのではなく、利用者、施設、行政、地域など組織化した総合的な権利擁護システムを形成することが求められています。そして何よりも施設オンブズマンの重要な役割として、福祉サービスを利用する者と福祉サービス主体者である施設との信頼関係を構築するための側面的な支援組織であることが大切であり、又、私も日々ごころからそのように心がけているつもりです。

さて、前号で東京都の施設オンブズマンは(1)どういう存在か。(2)何をするのか (3)オンブズマンとは、については紹介がありましたので省きますが、それでは。

- (4)施設オンブズマンはどのような人がえらばれるのか
障害者福祉や人権擁護に関し識見を有する人で原則として、
- ①学識経験者 ②地域の福祉関係者 ③地域住民の代表 ④保護者会の関係者等です。又、千葉福祉園の施設オンブズマンは五名で構成されており、任期は一年です。施設オンブズマンは、施設への立ち入りが認められています。次に掲げているのはサービス評価事業のフローチャートです。



平成十一年度東京都のサービス評価事業の結果報告が平成十二年

二月に出されております。その評価結果の主な特色として、評価が高かった項目(A項目)は「個室や二人部屋の配慮がなされている。」「帰省を無理強いしていない」など、評価が低かった項目(D項目)は「利用者に対する職員の姿勢」「世話をやってやっていると意識。言葉遣いや態度」「地域自立生活への支援」等です。全体的に施設オンブズマン評価の方が施設での自己評価より若干高い傾向であるようです。そのことはオンブズマンからは「月一回の訪問で評価するため、施設の現状を正確に把握できない。結果的に評価が甘くなるのではないか」「評価が終わるまで、非常に短期間であった」等の意見が出されています。次号では施設オンブズマンの現状(福祉園等)と課題について述べさせていただきます。

【プロフィール】

昭和四十三年十月千葉県社会福祉事業団採用以後 児童、更生、授産、治療教育室の施設長を歴任し現在に至る。
昭和六十一年から三年全国授産施設副会長、千葉県愛護協会研修委員長を歴任。
現在、千葉県愛護協会事務局局長 袖ヶ浦市福祉施設等連絡協議会会長。

行事予定

10月

- 4～6日 ニード別旅行：那須・日光 ⊕
- 5～6日 グループ旅行：房総勝浦 ⊕
- 25日 食事会：イタリア料理 ⊕⊕
- 26日 フライングディスク大会 ⊕⊕

11月

- 10日 手をつなぐ
スポーツのつどい ⊕⊕
- 15～17日 ニード別旅行：山梨 ⊕
- 16～17日 グループ旅行：日光 ⊕

12月

- 6～8日 ニード別旅行：東京 ⊕
- 27日 千手会年忘れ会 ⊕⊕

1月

- 13日 餅つき会・成人を祝う会 ⊕
- 16日 餅つき会 ⊕

⊕：千手園 ⊕：木の宮学園

ご寄付に感謝いたします

千手会夏祭りにご支援・ご参加いただきました皆様へ

深井寿満子様、三谷二郎様、須眞言宗豊山派宗務所様、元ボーイスカウト団長萩谷繁夫様

保護者会バザーのお礼

今年の夏は事の他、暑さが厳しく私達保護者会にとっては、広報関係、集荷、値付け、販売等のバザー活動はかなり大変でした。広報さくらなどで、市民の方々に呼び掛けて下さる御陰でさくら千手園を御存知ない方々にも、夏祭り

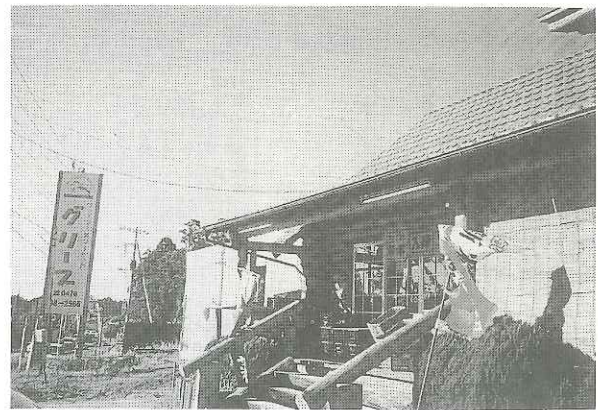
やバザーの事、時に依っては利用者のお話も尋ねて頂き本当に有難く思います。寄附品の中には家具なども有り、千手園で利用者が使わせて頂いている物も有ります。販売は多目的ホールで行いましたが、御案内が不備で反省しています。売上は、加齢対策基金として大切に使用させて頂きます。感謝。

(さくら千手園保護者会)

わたしたちの作品

こちらでどうぞ

今回2回目のお店紹介は「グリーン」です。グループは佐倉印西線の山田橋手前右側にあるしやれた



ログハウスと、ユーカリが丘のジョイナードにあります。印旛村の本店には、園芸班のハーブ各種を。ユーカリが丘には、園芸班のハーブ各種、手芸班のバック・巾着・押花入り葉書・リュックを販売させて頂いています。グリーンでは近隣農家の穫れたて旬の野菜等も売っています。おいしい野菜類と一緒に私達の作品もどうぞ!!
(有)グリーン

TEL 0476-1981-2566
FAX 0476-1981-2567
ユーカリが丘店
TEL 0431-4881-1770

おめでとうございます

♡ご結婚 7月22日

石井直子さん(木の宮学園)

★お誕生

須藤真由美さん(千手園)

9月1日 長男 佑太くん

ご冥福をお祈りいたします

深井正雄様(千手会理事)

お世話になりました

久保愛子さん(千手園指導員)

よろしく願います

飯島安也子さん(千手園介助員)

編集後記

「銀メダルノ金メダルノ」とスタートしたシドニーオリンピック。選手ばかりでなく、開会式に歌を歌う人、競技スタッフ、ボランティア、観客、全ての人々が一体となり、輝く瞬間です。影響を受けやすい私は、またもや「毎日を充実させるぞ。」と立ち上がります。水泳・パソコン・料理・英会話。もちろん仕事。と忙しい程楽しくなるが続かない…。いつまでもオリンピックブームでいて欲しいものです。
(齋藤)